

新型コロナウイルス感染に関わるアンケート結果

<対象> 日本整形外科勤務医会関東地区の常任幹事

<期間> 2020年4月15日(水)～4月17日(金)

中国、武漢の論文 (https://www.joa.or.jp/topics/2020/topics_200417.html) を参照した回答

<設問内容>

1. 貴院はどちらにありますか () 都・県
2. 感染症指定医療機関ですか ()
3. 病院では新型コロナ陽性患者の入院受け入れをしていますか ()
4. 新型コロナ陽性患者の整形外科的治療(手術含め)を担当されましたか ()
5. 外傷等で入院された後に新型コロナ陽性が判明したケースはありましたか ()
6. 発熱や倦怠感等を伴わない患者の予定(急ぎでない)手術の延期を検討されていますか ()
7. 手術を予定している(呼吸器症状などが無い)患者にPCR検査を行いますか ()
8. その他ご自由に意見をお願いします。

<結果>

1. 東京 17、神奈川 8、埼玉 4、千葉 2、茨城 3、栃木 2、群馬 4 合計 40 病院
2. 感染症指定医療機関 11、非指定医療機関 29
3. 陽性患者受け入れあり 29、なし 11
4. 陽性患者の整形外科的治療経験あり 2 (大腿骨頸部骨折 保存⇒手術予定 1、対応未定 1)
なし 38
5. 外傷で入院後陽性判明あり 2 なし 38
6. 待機・予定手術の制限または延期を検討あり 29 なし 11
7. 術前検査としてPCRの予定あり 4 なし 36 (胸部CT等併用 4)

<以上の結果要約>

1. いずれも各地域の中核病院であるが、58病院中40病院から回答が得られた
2. 感染症指定医療機関では比較的早期から陽性患者の受け入れが始まっていたが、その後の感染拡大に伴って18病院で新たに受け入れを開始している
4. 陽性患者の整形外科的治療を開始したところはまだ少ない
5. 外傷で入院後に陽性判明はまだ2と少ない
6. 通常の待機手術を延期しているところはすでに多い(学会の指針を参考にしている)
7. 通常の待機手術にPCRまで行う予定しているのはまだ比較的少ない

<自由意見の要約>

- ・今後受け入れや治療が増加すると見込んでいる
- ・内科だけでは手が足りないので整形外科医も陽性患者への対応をしている
- ・PCRがしたくても病院として制約がある
- ・ガウンやマスクなどの物品が足りない

- ・ 整形外科は通常診療を継続しており手術制限をしていない
- ・ コロナ以外の診療は縮小しており、甚大な影響が出ている
- ・ 整形外科手術は Tier3 のみとしている

https://www.joa.or.jp/media/institution/program_change_notification.html

⇒ “Tier 3 “ については CMS ガイダンス 参照

<https://www.cms.gov/files/document/31820-cms-adult-elective-surgery-and-procedures-recommendations.pdf>

- ・ 病院の構造上の問題で Zoning に苦労している クルーズ船から続く対応で職員の疲弊が激しい
- ・ 地域の特性上まだ感染者が多くないので通常に診療しているが、そろそろ対策が必要と感じている
- ・ 入院患者全例に低線量胸部CTを撮影し、疑いがあればPCRを行う
- ・ 外傷で入院した患者の SatO2 が低かったため個室隔離とし、その後PCRで陽性と判明した

(文責 日本整形外科勤務医会副会長 (関東地区会長)

日本整形外科学会 理事

江畑功)